

令和5年度北海道指定有形文化財特別展 K446遺跡の擦文文化



K446遺跡は昭和53(1978)年に北区麻生町7丁目にある市営麻生球場の建設の際に発掘調査された遺跡です。遺跡からは7～13世紀に北海道を中心とする地域で営まれた擦文文化の遺物が出土し、本州との交流の状態を知るうえで貴重な資料であるとされ、昭和55(1980)年に「札幌市K446遺跡出土の遺物」として北海道指定有形文化財に指定されました。

今回の特別展では、指定された17点の遺物を展示するとともに、それら遺物の性格をとおしてみえてくる交流のあり方や、遺跡から発見された竪穴住居跡の特徴などを紹介します。

会 場：埋蔵文化財展示室(札幌市埋蔵文化財センター内)
(札幌市中央区南22条西13丁目)

期 間：令和5(2023)年9月1日(金)～10月31日(火)

休館日：令和5(2023)年9月18日・23日、10月9日

開館時間：午前8時45分～午後5時15分まで

主 催：札幌市埋蔵文化財センター
問合せ：011-512-5430

入場
無料



04-D05-23-1565

R5-4-262